

## 開閉所の電源設備の定期点検を実施します～燃料冷却の維持について検討を行いました～

- 7月2日、3日の両日、外部から発電所内に電気を供給する電気回線の定期点検を行います。この回線は、2回線(甲・乙)で構成されており、今回の点検は、所内の開閉所に設置されている電線と付属設備の外観点検および清掃です。
- 作業自体は短時間ですが、点検作業員の安全確保のため、2つの回線の電気を交互に停止したうえで1回線ずつ点検を行います。
- 1回線を停止して点検している間に、もう一方の回線が何らかのトラブルにより停止し、所内への電気の供給が停止してしまうような場合でも、燃料の冷却に必要な設備の電源を確保できるよう、①適切な点検時期の選定、②トラブル時の電源確保の流れ、③トラブルに備えた要員確保ならびに連絡体制の強化等について、事前に検討を行っています(事前検討結果は以下の通りです)。
- 当所では、こうした通常の定例的な点検作業においても、燃料の冷却に係る影響を最小限に抑えたうえで作業を行うこととしています。

### <事前検討結果>

#### ①適切な点検時期の選定

バックアップ用の非常用ディーゼル発電機について、点検台数が最も少ない時期を選定しました(2号機で3台中1台のみ点検中。他1、3、4号機は3台ともスタンバイ状態)。

#### ②トラブル時の電源確保の流れ

非常用ディーゼル発電機が自動的に起動するとともに、点検している回線を復旧し電源を確保します。なお、点検している回線の復旧にかかる時間は2時間以内を見込んでいます。

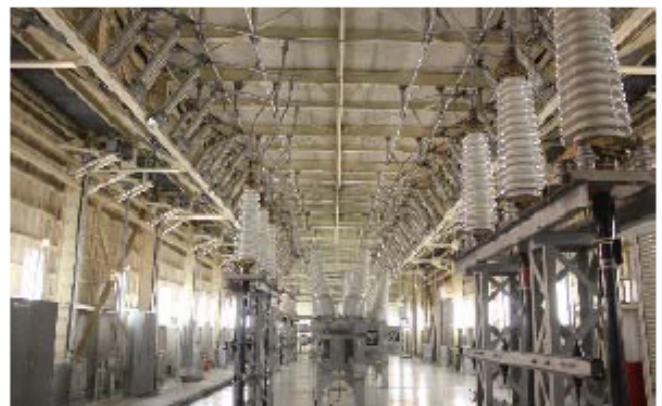
また、それらによって電気が供給できない場合に備えて、ガスタービン発電機車や電源車が待機しています。

#### ③トラブルに備えた要員確保ならびに連絡体制の強化

点検にあたり、非常用ディーゼル発電機やガスタービン発電機車、電源車の起動時に備え要員を確保するとともに、点検作業員を含めて連絡体制を強化しています。



開閉所の外観



点検を行う開閉所内の電源設備

### <各プラントの燃料の状況>

各プラントにおける原子炉水・使用済燃料プール水の温度や、冷却設備がすべて停止した場合のそれぞれの温度上昇率、制限温度までの到達時間は下表の通り(7月1日時点)

#### ○原子炉

号機	水温 (°C)	温度上昇率*1 (°C/時)	100°C*2 到達時間
1号機*3	燃料は使用済燃料プールに移動中		
2号機	燃料は使用済燃料プールへ移動済		
3号機	32.7	0.7	96時間
4号機	燃料は使用済燃料プールへ移動済		

\*1 冷却設備がすべて停止した場合に、1時間で上昇する温度

\*2 保安規定で定められた制限温度

\*3 1号機は燃料移動中のため、全燃料が使用済燃料プールへ移動が完了したものと、温度上昇率を算定

#### ○使用済燃料プール

号機	水温 (°C)	温度上昇率*1 (°C/時)	65°C*2 到達時間
1号機*3	29.5	0.4	89時間
2号機	25.5	0.4	99時間
3号機	27.9	0.2	186時間
4号機	25.7	0.3	131時間